

の際に、林野庁を表敬し、牧元長官及び本郷次長とお話ををして、政策提言を行い、10月には、林業・木材中央6団体で共同行動宣言2018を公表しました。その中で感じすることは、山元への利益の還元の重要性です。木材の持つ価値を最大限実現して、一円でも多く山元にお返しして、循環型社会形成に寄与するという使命は木材市場しか果たせないと考えます。そのためにも、全国各地の会員・支部の声をくみ上げ、連盟の活動に反映させていきたいと考えています。」等と述べました。

・田口護林野庁業務課企画官から、「審査基準の統一等システム販売ルールを変更、その内容等について、各森林管理局で説明会を行う。新たな森林管理システムに対応して、10年～数十年の長期大ロットの国有林材の新たな供給システムを検討中。国有林において、増加が見込まれる供給量の中で、川下成31年度予算においてサプライチェーン構築に向けた事業費を要求しており、市場の支援・協力を。」等に言及した挨拶を頂いた。

の事項について報告し、ご了承を頂いた。  
①平成30年夏・秋自然災害被害状況等  
②JAS展（スケジュール等）③共同行動宣言2018④林業・木材産業関係税制及び金融についての要望⑤外国人受入アンケート結果⑥木材アドバイザー講習会・資格更新等⑦需給情報共有活用対策事業⑧CWF法関連資料（登録状況）⑨岡野健氏グリーン賞受賞⑩未来投資戦略等の概要⑪建築基準法改正のポイント⑫知事会（国産材活用PT）概要⑬平成29年木材需給表⑭中国木構造設計規範改訂・韓国違法伐採法

【情勢報告・業務運営】

林野庁の説明等に関連し、質疑意・見  
交換を行つた。主な項目としては、「①  
CLTラミナ製造の設備等の課題②サプ  
ライチエーンについて③国有林のシステ  
ム販売 目的・相手方選定因子等につい  
て④長期大ロットの新たな販売と中小に  
配慮した販売委託について⑤外国人労働  
者導入の考え方について⑥林道と土地取  
用法等

## ■30年度第2回理事会を開催（東京・後楽園で）

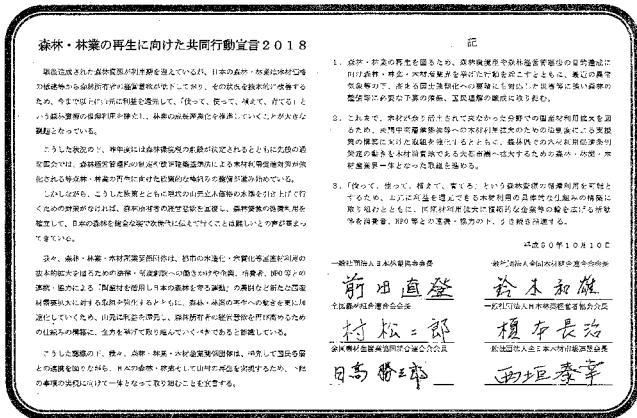
【林野庁挨拶・情報提供】

# 今市連時報

発行所

一般社団法人  
全日本木材市場連盟  
編集・発行人 小合信也  
東京都文京区後楽1-7-12  
〒112-0004 林友ビル6階  
電話 03(3818)2906  
FAX 03(3818)2907  
毎月1回1日発行  
定価・年3,000円  
(会員は会費に含まれています。)

と連携している意欲と能力のある林業者を対象。最近、労働災害が多発しており、未然防止ため安全対策、アドバイスをお願いする。」等 挨拶と情報提供を頂いた。



理事会西垣会長挨拶

## 〔新規加盟者〕

この度、当連盟に新規加盟申し込みのあった①上吉野木材協同組合②桜井木材協同組合③株式会社菅生 菅生銘木市場④奈良県銘木協同組合⑤中吉野木材市売協同組合⑥吉野製材工業協同組合吉野材センターの6社・協同組合等について、加盟が承認された。これにより、奈良県内の木材市場の全てが当連盟の会員となられた。

## 〔その他〕

①次回理事会の日程について、平成31年3月11日(月)開催が提案され、了承された。

②台風19号、20号及び24号によって、会員市場の施設に被害報告のあつた関東支部、北陸支部、近畿支部及び九州支部対して、連盟からお見舞い金を送ることについて、提案・了承された。なお、7月の豪雨で被害のあつた中国支部及び四国支部への御見舞い金贈呈については、8月27日に開催された正副会長支部長会議において了承され、見舞金が贈呈されていることについても報告され、了承を得た。

## 〔講演会〕

議事終了後、(一社)日本木質バイオマスエネルギー協会前川洋平主任専門調査員に「発電利用に供する木質バイオマスの証明のためのガイドライン」の適切な運用に向けて」と題してお話し頂いた。  
概要は、  
1.これまでの取組状況の紹介  
2.2012年6月林野庁が「発電利用に供する木質バイオマスの証明のための

ガイドライン」策定(原則・認定団体により事業者認定を受けた認定事業者が証明書発行)

・バイオマス協会による運営マニュアルの作成

2.ガイドラインの運用に関する指摘(総務省行政評価・監視での指)

・誤った燃料区分を適用して納入している事例

・証明書と根拠書類を入手しなかった、証明書を作成しなかつた事例

・証明書の記載内容が不十分だった事例

・現地調査での事案(認定団体認識不足、

・認定団体としての適性維持、証明書一括発行、月縮め証明書発行等)

3.ガイドラインの運用に関する工夫事例

・認定団体間の認定権み分け・連携し燃料供給取りまとめによる証明連鎖

4.分別管理や証明連鎖の確認

・由来の明確化

・由來の定義

・分別管理のイメージ等

5・よくある質問(Q&A)

## ■全国優良木材展示会―東海木材相互市場

遠山景一氏(ヒノキ天然木)に農林水産大臣賞

当連盟主催の全国優良木材展示会は11月16日(金)、東海木材相互市場・大口市場(丹羽郡大口町)で開催された。

来賓は、猪島康浩林野庁木材産業課長、宮澤俊輔中部森林管理局長及び愛知

県農林水産部林務課山本剛久課長ほか。出品材は、国有林材(木曽ヒノキ材、人工林ヒノキ材等)及び民有林材合せて約3,000m<sup>3</sup>。

開会に当たり、全市連の西垣泰幸連副会長(西垣林業社長)が、「本展示会は、

全国の優良木材のPRと需要拡大のため

全市連が長年にわたり、関係各位の御協力のもとに開催。今後、全国各地の木材関係者が一体となり、国産材の安定需給体制づくりを進め、林業、木材産業の健全な発展に取り組むことが重要。全市連としても、国産材の利用拡大及び利益の

関係者が一体となり、国産材の安定需給体制づくりを進め、林業、木材産業の健全な発展に取り組むことが重要。全市連

としても、国産材の利用拡大及び利益の

山元への還元等の課題に積極的な取り組みを進める。旨の挨拶を行った。

猪島木材産業課長等から入賞者に農林水産大臣賞、林野庁長官賞等を贈呈した。

また、天然木曾ヒノキの競りに先立ち、宮澤中部森林管理局長から挨拶を頂いた

後、競りが行われた。

民有林材の審査結果は、次のとおり(敬称略)。

△農林水産大臣賞 遠山景一(ヒノキ天然木240年生90cm 5m) △林野庁長官賞 山根金一(株)河本木材店、鈴木慧子

△中部森林管理局長賞(有)北村木材店、大富部喜彦△全木連会長賞 大桑透、山根謙治△全木連会長賞 中原林業、柴田昭治△全買連会長賞 鈴木康夫、鈴木耕治。

式典終了後は、快晴のもと全国から約270名の買方が集まり、活発な競りが行われた。国有林材等優良材は、関係者が見守る中で、熱気のこもったセリが行われ、最高値のヒノキ天然木には230



農林大臣賞受賞材



表彰の様子

万円/m<sup>3</sup>の高値がついた。更に農林水産大臣賞のヒノキ天然木には、100万円/m<sup>3</sup>の高値が付いた。

# ■全国木材産業振興大会開催

A black and white photograph of a man with glasses and a boutonniere, wearing a dark suit, standing at a podium and speaking into a microphone. To his left is a large arrangement of flowers. In the bottom right corner, the top of another person's head is visible.

## 振興大会 全木連鈴木会長挨拶

は、都市部での木材利用拡大、森林資源の循環利用に向けた取組、新たな木材需要創出のための技術開発、木材産業振興のための予算確保、合法木材やJAS制度普及等を盛り込んだ大会宣言を全会一致で決議した。記念講演は、出雲大社千家和比古権宮司が講師を務めた。表彰式では、吉条良明前全木連会長及び市川英治前全市連会長等退任団体長に感謝状が、全市連推薦として押本雅壽氏（丸宇

平成30年10月18日、広島市において、第53回全国木材関係者が一堂に会し、第53回全国木材産業振興大会が「木をつなぐ・神々の時代から、現在（いま）そして未来へ」をスローガンに開催された。大会には、全木連、全木協連会員、牧元林野庁長官、湯崎広島県知事、地元国會議員等の来賓を含め、約750名が出席した。議事で

木材市売（株）に全木連会長表彰状が贈呈された。その他、関係者では、亀山正義氏（新東京木材商（協）、名田健吾

## ■平成29年木材需給表公表

林野庁は、平成30年9月に平成29年木材需給表を公表した。概要は、以下のとおり。

## 1. 木材需給の概要

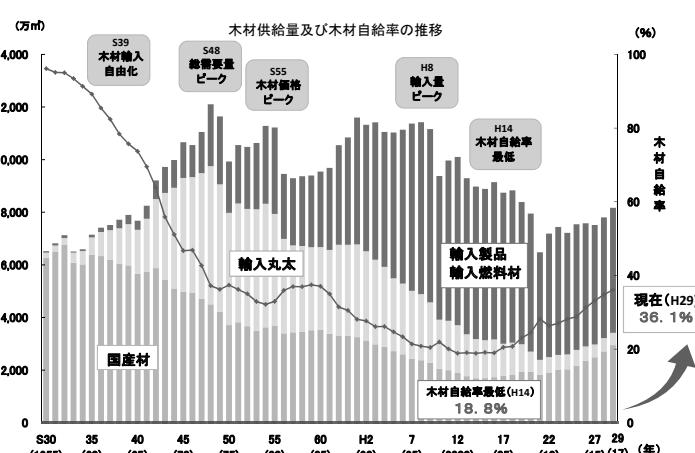
(1) 木材需要 平成29年における木材の総需要量は8,172万2千m<sup>3</sup>となつた。前年に比べて364万5千m<sup>3</sup>（対前年増減率（以下同じ。）4・7%）増加した。

(ア) 用材 平成29年における用材の総需要量は7,361万1千m<sup>3</sup>で、前年に比べて166万9千m<sup>3</sup>(2・3%)増加した。

この内訳をみると、製材用材は2,637,500m<sup>3</sup>で前年に比べ22万m<sup>3</sup>(0.8%)増加し、合板用材は1,053万8千m<sup>3</sup>で、前年に比べ29万m<sup>3</sup>(2.8%)増加し、パルプ・チップ用材も3,230万2千m<sup>3</sup>で前年に比べ68万3千m<sup>3</sup>(2.2%)増加した。用材の輸出量は2,61万4千m<sup>3</sup>で、前年に比べて50万2千m<sup>3</sup>(23.8%)増

(イ) しいたけ原木 平成29年における  
しいたけ原木の総需要量は31万1千m<sup>3</sup>  
で、前年に比べて1万7千m<sup>3</sup>（5・  
増加した。

(ウ) 燃料材 燃料材の国内生産量は603万7千m<sup>3</sup>で、前年に比べて157万9千m<sup>3</sup>(35・4%)増加した。燃料材の輸入量は176万4千m<sup>3</sup>で、前年に比べて41万4千m<sup>3</sup>(30・7%)増加した。



## ■秋の叙勲

平成30年11月3日（土）発令の秋の叙

坂東正一郎 氏（前全木協連会長・埼玉県木材協会会长）が旭日中綬章を、前田直登 氏（林業協会会长・元林野庁長官）

(第728号)

## ■合板の日記念式典

官)が瑞宝重光章を受章されました。おめでとうございます。

11月3日「合板の日」を前に、平成30年11月2日（金）に東京都新木場タワーにおいて記念式典が開催され、200人が出席した。当日は、神谷文夫セイホウ技師長が合板産業の発展への多大なご功績により、林野庁長官表彰状を授与された。具体的には①国産厚物構造用合板の新たな製品開発及び用途開発②さらなる新製品の開発と普及活動③国産材利用促進への多大な貢献など。また、その後、京都大学生存圏研究所、五十田博教授による「実大実験に見る合板耐力壁の挙動」と題して、『住宅の真の性能がどのようなものであるか』等について、動画を多用した記念講演が行われた。更に、全国合板一枚・作品コンペ（受賞）から合板一枚コンペ入賞作品の紹介が行われた。

目ごとに、減点方式で審査した。審査結果は、以下のとおり。

- ①都知事賞…(有) 東部産業
- ②産業労働局長賞…東北木材(株)、(有)

林組合、「デジタルファブリケーションによる自律分散型生産ネットワーク」(VULD 株式会社)など、建築・空間・建材・部材、木製品、コミュニケーション

先日NHKで超常現象の番組を放送していた。米国でのUF Oについて、証拠のない与太話が科学的検証もないまま、マス

**■合板の日記念式典**

11月3日「合板の日」を前に、平成30年11月2日（金）に東京都新木場タワーにおいて記念式典が開催され、200人余が出席した。当日は、神谷文夫セイホク技師長が合板産業の発展への多大なご功績により、林野庁長官表彰状を授与された。具体的には①国産厚物構造用合板の新たな製品開発及び用途開拓②さらなる新製品の開発と普及活動③国産材利用促進への多大な貢献など。また、その後、京都大学生存圈研究所、五十田博教授による「実大実験に見る合板耐力壁の挙動」と題して、「住宅の真の性能がどのように

①都知事賞・（有）東部産業  
②産業労働局長賞・東北木材（株）、（有）老川賢吉商店、坂本商店、厚沢部林産工業（株）、久万広域森林組合  
③都木連会長賞・上大木材産業（株）、協和木材（株）、沓澤製材所（株）、沼崎製材所、本宮木材（株）  
式典では、ご来賓挨拶の後、市川東京木材市場（株）社長から「展示会開催にご尽力いただいた関係者への感謝、秋靈の真只中、今こそ国産材需要拡大の好機であり、品質・規格の担保された優良国産材の一層のお買い上を」等の謝辞・挨拶があり、続いて、活発なセリが行われた。

# ■「ウッドデザイン賞 2018」

(最優秀賞は「江東区立有明西学園」)(株)  
竹中工務店ほか)

第4回目となる「ウッドデザイン賞2018」の393点の応募作品の中から、最も評議された、審査員特別賞、審査員賞、優秀賞、奨励賞が決定された。

最優秀賞（農林水產大臣賞）、優秀賞（林野廳長官賞）、獎勵賞（審查委員會賞）の5種、最終選出として、最優秀賞

長賞）の23点が最終選出された。最優秀賞を受賞した「江東区立有明西学園」は

都市部での大規模な学校施設の木構造化・木質化の実現と、アクリティブ・ラーニ

ングの実践など木質化による学習環境の向上、地域産業の伝承、感性教育を見事

向上 地域産業の位置 感性教育を見事に融合させた質の高い施設づくりが高く評価されました。

評価された。優秀賞には、「いわきCLT復興公営住宅」(ふくしまCLT木造建築研究会「木あみ」)、「odai」(宮川森

# ■第63回全国優良木材展示会（東京木材市場（株））

(有)東部産業に都知事賞

東京都木材団体連合会（渡辺 昭会長）と東京木材市場協会（市川英治会長）

は10月4日（木）に、東京木材市場株式会社（市川英治社長）において全国優良

木材展示会を開催した。10月3日（水）

に行われた審査会においては、14社20  
5m<sup>3</sup>の製材品について、「寸法、技術、  
表示・結束、乾燥、出荷実績」などの項

# ■木材アドバイザー講習会 会場変更

平成31年2月15日（金）及び2月16日  
（土）開催予定の木材アドバイザリ講習

(二) 開催三日定の不規格外ハナハナ  
会東京会場の開催場所が、都合により本  
十日間、直にて十一月廿九日止。

材会館（東京木材問屋協同組合） 136  
10082 東京都江東区新木場1-18

8 木材会館) 7階ホールに変更となります。